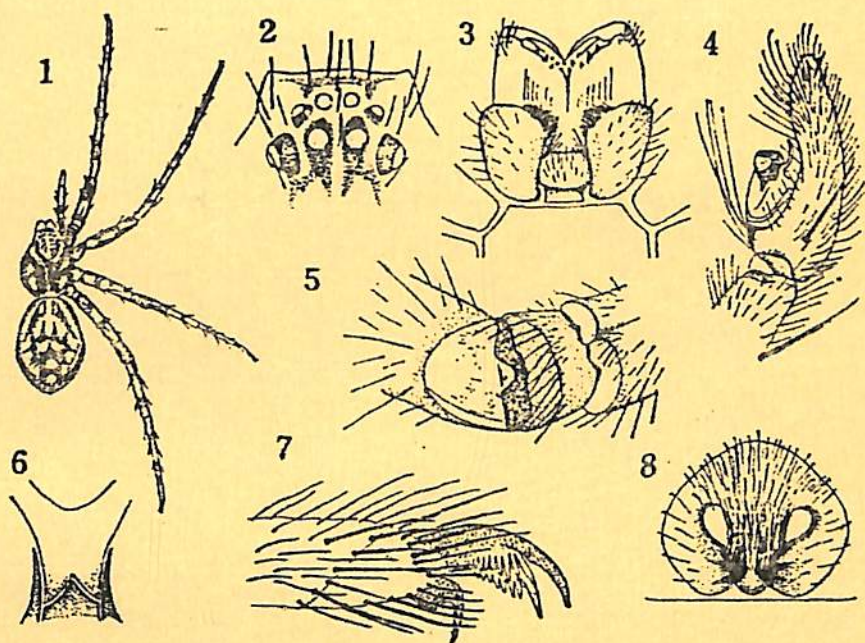


# しのびぐも

第 11 号



*Cispius orientalis* YAGINUMA

1983

三 重 ぐ も 談 話 会

1984.5.26  
32144.5

表 紙 説 明

*Cispius orientalis* YAGINUMA

シノビグモ (キシダグモ科)

1965年5月4日、三重県、三重大学平倉演習林（一志郡美杉村川上）にて、橋本理市氏採集。

新種として記載された。

図は、八木沼健夫氏の御厚意により、ACTA.

ARACHNOLOGICA Vol. 20 No.2 より転写したものである。

1. Dorsal view (♀)
2. Eye area (♀)
3. Mouth part (♀)
4. Palp (♂)
5. Trochanter (♀)
6. Pedicel (♀)
7. Onychium and claws (♀)
8. Epigynum. (♀)

## シノビグモを求めて

貝 発 憲 治

シノビグモ (*Cispius orientalis* YAGINUMA) は、1965年5月4日に三重県一志郡美杉村川上の平倉川において、橋本理市氏によって最初に発見され、後、追手門学院大学の八木沼健夫教授によって、忍者の里伊賀上野からこつ然と現われた新種であるということから、シノビグモと命名されたクモである。このクモは、川原の石間を徘徊する体長1 cm程の褐色のクモであると言われており、その後、愛媛県の石鎚山、穴神洞、道後温泉、長野県、鳥取県からも発見された。

私は、日頃から、各地のクモを採集するときは、充分このクモにも注意を払ってきたつもりであるが、今まで全く採集できない状態で、一度平倉川を調査してみたいと思っていた。ところが、幸いにも、今年は美杉村へ出かける機会が数度あったので、これを利用して、この際、平倉川を含めてもう一度各地の河川を納得できる程度にまで調査することにした。

まず、手始めは平倉川から調査をすることにし、お聞きしておいた、橋本氏が採集された地点を中心に上下約1.5kmの流域を、ベイトトラップ法も併用して二日かかって調べた。調査開始早々、川の端近くの石間から雌亜成体一頭が見つかった。意外に簡単に、念願の本物を手にしたわけだが、体色はこげ茶色で頭胸部の黒褐色の斑紋がよく目についた。一見したところは、アオグロハシリグモのようであった。やはり平倉川にはいるのだと感激をし、喜びいさんでその後の調査を続けた。しかし、その後はいくら石をひっくり返しても、出てくるのはキシベコモリグモばかりであり、張りきっていた気持ちや期待感はだんだんと薄れていった。結局は一頭の採集だけに終わり、疲労感が一度にふき出した。やはり、そうたやすく何頭も採集できるものではなかった。この時点で私は、「橋本氏は、どうして当時、キシベコモリグモ（このクモはシノビグモより10年後に新種記載された）を採集せずに、これ程発見しにくいシノビグモの方を先に採集できたのか。20年間に平倉川が環境が変化してキシベコモリグモがシノビグモを追いやってしまったのか。あるいは、シノビグモは本当に川原の石間に生息しているのだろうか。」という疑問をいだいた。しかし、十分に検討する期間もないので、とにかく、最初の計画通り、他の河川についても調査を続けることにした。平倉川の様子から、他の河川についてはあまり期待しなかったが、結局、石間から見られるのはキシベコモリグモが大部分であり、シノビグモは一頭採集しただけでこの調査を終えた。

来年、調査範囲を川原の外まで広げ、もう一度、平倉川を重点的に調査したいと思っているが、今回の調査結果から、かなり確信をもって言えることは、三重県の河川では、シノビグモは川原の石間にはほとんど生息していないということ

である。

参考のために、この調査で川原の石間から採集されたクモを掲げると次の通りである。

○調査河川

- 名張市比奈知、名張川〔C 3610-3436〕 1983年7月26日  
一志郡美杉村川上、平倉川〔C 3614-3427~3614-3428〕 1983年7月27日、  
1983年7月28日  
員弁郡北勢町、青川〔C 3628-3507〕 1983年8月3日  
員弁郡藤原町、三国谷〔C 3626-3412〕 1983年8月3日  
北牟婁郡海山町、又口川〔C 3610-3405〕 1983年8月13日  
北牟婁郡紀伊長島町、三戸川〔C 3614-3412〕 1983年8月13日  
多気郡宮川村岩井、宮川〔C 3613-3417〕 1983年8月13日  
伊勢市、島路川〔C 3645-3425〕 1983年8月20日

○調査結果

I. コサラグモ科

1. ナラヌカグモ 三国谷、又口川、宮川  
2. ヌカグモ 平倉川、三国谷  
3. *Oedothorax* sp. 青川  
4. コサラグモ科 sp. 平倉川

II. コガネグモ科

5. ヤマトゴミグモ 青川

III. タナグモ科

6. カミガタヤチグモ 平倉川  
7. ヤチグモ属 sp. 三国谷

IV. キンダグモ科

8. シノビグモ 平倉川  
9. アオグロハシリグモ 名張川、平倉川、島路川

V. コモリグモ科

10. ハリゲコモリグモ 又口川  
11. キシベコモリグモ 名張川、平倉川、青川、三国谷、又口川、宮川、  
島路川  
12. クラークコモリグモ 平倉川、青川  
13. イモコモリグモ 名張川  
14. チビコモリグモ 平倉川  
15. ナミコモリグモ 平倉川

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 16. コモリグモ科 sp.  | 又口川           |
| VI. ハエトリグモ科     |               |
| 17. アメイロハエトリ    | 平倉川           |
| 18. ハエトリグモ科 sp. | 又口川           |
| VII. ワシグモ科      |               |
| 19. メキリグモ       | 青川、三国谷、三戸川、官川 |
| 20. ワシグモ科 sp.   | 又口川           |

(sp. はすべて幼体のため種決定まで至らないもの)

なお、この原稿を作成中に、長野県で千国安之輔氏が沢山のシノビグモを採集されていることを思い出し、来年度の採集の参考にするために、シノビグモの生息環境についてお尋ねしたところ、お忙しい中にもかかわらず、懇切丁寧な興味あるお返事をいただいた。感謝の意を表するとともに、皆様の採集の参考にさせていただくために、お許しを得てその要点を次に書かせていただきます。

シノビグモは、

- (1)、谷川では、湧出水の流れている湿り気が多い川の端の草（ウワバミソウやシダ類など）や、やぶの根元に生息する。（アオグロハシリグモやシボグモ、スジアカハシリグモなどが徘徊し、上にはタニマノドヨウグモが円網を張っているようなところ）
- (2)、川原では、滝などがあっていつも水がどろどろと流れており、川の端の草木（雑草やススキ、ヨシの類）がいつも水しぶきでぬれているようなところに生息する。（キシベコモリグモがいるような乾燥した川原の石間にはいない）
- (3)、標高は比較的高いところにおり、平地にはほとんどいない。
- (4)、年間に何度も発生するらしく、いつも各発育段階のものが採集される。

名張市比奈知でとれた注目すべきクモについて

貝 発 憲 治

名張市比奈知は、名張市街から約2 km東に位置する地区で、ここを流れる名張川に、近々ダムが建設され、上流域の比奈知、長瀬の一部は水没することになっている。そこで、本年度、この水没地域を中心に生物相の総合調査が行われたが、筆者もこの調査に参加し、1983年6月から12月にかけて計6回、クモ類の採集を行った。その結果、総採集個体数1388頭、23科97属174種のクモを確認した。ここでは、これらのうちから特に注目すべき種をいくつか取りあげまとめることにする。

本調査に際して、多忙中にもかかわらず、面倒な同定や懇切丁寧な助言をしていただいた、東亜蜘蛛学会々員の西川喜朗氏、松本誠治氏、斉藤博氏に対し、感謝の意を表します。

◎ 1983年7月26日、熊走地区〔C3609—3436〕にて、アラカシ・クヌギ・アセビ・ヤブツバキ・ヒサカキ等の雑木林をピーティングした際、次の四種を採集した。

○ *Coleosoma blandum* O. P. CAMBRIDGE サヤヒメグモ

雌成体1頭。このクモは南方種で、三重県では、南部の尾鷲市、北牟婁郡紀伊長島町で多く採れている。しかし、最近各地で採れ出しており、今後調査がすすめば、全県下で記録される種のように思われる。

○ *Tmarus hanrasanesnis* PAIK ハナナガトラフカニグモ

○ *T. rimosus* PAIK セマルトラフカニグモ

雌成体各1頭。三重県初記録種。トラフカニグモも同時に採集され、この三種は混生していた。形態が特異なことから、今までは、かえって精査もされずに、すべてトラフカニグモとされてきたきらいがあり、今後同定に注意を要する。体長は約6～7 mmで三種ともほぼ同じ大きさであるが、名が示すように、セマルトラフカニグモは腹部後端がとがらずに丸く、ハナナガトラフカニグモは額が斜めに長い。ハナナガトラフカニグモは、秋田県手形山について日本で二番目の記録である。Epigynumは図1～3のようである。

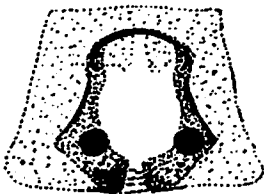


図1 トラフカニグモ

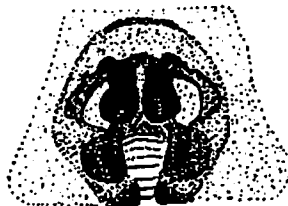


図2 セマルトラフカニグモ

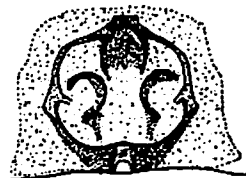


図3 ハナナガトラフカニグモ

○ *Amyphaena ayshides* YAGINUMA ナガイズツグモ

雌成体1頭。員弁郡藤原町河内谷について21年ぶり三重県二度目の記録である。  
Epigynumは図4のようである。

◎ *Heriaeus mellottei* SIMON

アシナガカニグモ

1983年8月25日、丸山地区〔C3609-3435〕にて、雌幼体2頭、9月25日、同、雌幼体2頭、雄幼体2頭を採集した。スギ林のそでのススキ群落の中に入らもので、採集例はあまり多くない種である。上野市で一度採集記録がある。体長約7mmで雌雄ともほぼ同大である。

全身白い長毛がはえ、腹部に複雑な白斑がある。雄の体色は黄緑色、雌はやや色濃くて灰緑色であり、脱皮直後はきれいな白黄色になる。それぞれ10月に一度脱皮をし、亜成体となって越冬した。捕食動作はきわめて緩慢で、ふり上げた第一脚下に完全に獲物が入るまでじっと静止したままで、たとえ獲物が体や脚の上をはいまわってもとびかかることはない。



図 4

◎ *Synaema globosum japonicum* KARSCH フノジグモ

1983年8月26日、上出小場地区〔C3610-3437〕にて幼体4頭を採集した。腹部に大きな「不」の字型の黒斑がある。旧北区系のクモで、三重県では、近隣の一志郡美杉村平倉と上太郎生でのみ、多くの採集記録がある。

◎ ヤチグモ類

1983年12月17日、横谷地区〔C3610-3435〕にある神社内のスギ林から、カメシヤチグモ雄成体1頭が得られた。三重県での採集記録は、安芸郡芸濃町小野平、小野平滝〔C3623-3446〕、鈴鹿郡関町弁天〜バンドウ〔C3621-3451〕があり（西川私信）、今回は3カ所目の記録となる。また、同じ1983年12月17日に丸山地区〔C3609-3435〕のスギ林内から、ヤチグモの新種（雌成体1頭）が採集された。後牙堤歯2本であり、Epigynumの様子から、雄のPalpも特異な形態をしているものと思われる（西川私信）。今後、雄の採集に力を入れたい。Epigynum図5。その他、カミガタヤチグモ、ホラズミヤチグモ、ヤマヤチグモ、ヒメヤマヤチグモ、ヒメシモフリヤチグモが得られた。

◎ サラグモ類、コサラグモ類

今回の調査で特に目についたのは、シフティング採集できわめて多種のサラグモ科やコサラグモ科のクモが採れたことである。山間の地形や気象条件が、寒地性のサラグモ科やコサラグモ科の生息環境と適合しているようであり、さらに継続した深い調査が必要と思われる。



図 5

三重県初記録種は次のようである。

- *Bathyphantes orientis* OI                    テナガグモ  
龍地区〔C3610-3436〕 1983年12月17日、雌成体1頭
- *Centro merus sylvaticus* (BLACKWALL)                    マルサラグモ  
下山地区〔C3610-3436〕 1983年12月17日、雌成体2頭。深広地区〔C3610-3436〕 1983年12月17日、雌成体4頭。龍地区 1983年12月17日、雌成体1頭。丸山地区〔C3609-3435〕 1983年12月17日、雌成体1頭
- *Porrhanna tateyamense* OI                    タテヤマサラグモ  
下山地区 1983年7月26日、雄成体1頭、1983年12月17日、雌成体1頭、雄成体1頭。深広地区 1983年12月17日、雌成体1頭、雄成体2頭。横谷地区〔C3610-3435〕 1983年12月17日、雄成体1頭。熊走地区〔C3609-3436〕 1983年12月17日、雄成体2頭、幼体6頭
- *Ceratinella brevipes* (WESTRING)  
下山地区 1983年12月17日、雄成体1頭
- *Aprifrontalia muscula* (KARSCH)                    コサラグモ  
下山地区 1983年6月12日、雌成体2頭、雄成体1頭。深広地区 1983年6月12日、雄成体1頭。龍地区 1983年6月12日、雌成体1頭、雄成体2頭
- *Araeoncus orientalis* OI                    ズブトヌカグモ  
熊走地区 1983年7月26日、雌成体1頭
- *Micrargus acuitegulus* OI                    ホソデゴマグモ  
熊走地区 1983年7月26日、雌成体1頭
- *Oedothorax osakaensis* OI                    オオサカアカムネグモ  
深広地区 1983年8月25日、雄成体1頭、1983年12月17日、雌成体1頭
- *Oedothorax tokyoensis* (UYEMURA)                    トウキョウアカムネグモ  
下山地区 1983年6月12日、雌成体9頭、雄成体2頭、1983年7月26日、雄成体1頭、1983年12月17日、雌成体11頭、雄成体5頭。深広地区 1983年8月25日、雌成体1頭。丸山地区 1983年8月25日、雌成体1頭、1983年12月17日、雄成体1頭。横谷地区 1983年12月17日、雌成体3頭、雄成体1頭。熊走地区 1983年7月26日、雌成体1頭、雄成体1頭
- *Oia imdatei* (OI)                    イマダテテングヌカグモ  
下山地区 1983年7月26日、雌成体1頭  
三重県二度目の記録種は次のようである。
- *Cornicularia vulgaris* OI                    コテングヌカグモ  
深広地区 1983年7月26日、雄成体1頭、1983年12月17日、雌成体1頭
- *Oedothorax angulituberis* OI                    コトガリアカムネグモ  
横谷地区 1983年12月17日、雌成体1頭



○ *Solenysa mellottei* SIMON      アリマネグモ

下山地区 1983年 7月26日 雌成体1 頭、1983年12月17日、雄成体1 頭

丸山地区 1983年 8月25日、幼体1 頭

また、種決定まで至らないものは、次のようである。

○ *Lepthyphantes* sp.      (新種)      (Epigynum 図6)

丸山地区 1983年12月17日、雌成体3 頭

○ *Meioneta* sp.      (新種)      (Palp 図7)

下山地区 1983年12月17日、雌成体4 頭。丸山地区 1983年12月17日、雄成体  
2 頭

○ *Gongylidioides* sp.      (新種)

丸山地区 1983年 8月25日、幼体1 頭、1983年 9月25日、幼体7 頭。床並地区  
〔C3611-3436〕 1983年 9月25日、幼体6 頭

○ *Erigoninae* gen. et sp. ハシグロナンキングモの近似種  
(Epigynum . Palp 図8)

下山地区 1983年 6月12日、雄成体1 頭。瀧地区 1983年 6月12日、雄成体1  
頭、1983年 7月26日、雌成体8 頭

○ *Erigoninae* gen. et sp.      (Epigynum 図9)

深広地区 1983年 7月26日、雌成体1 頭

○ *Nematogmus* sp.      (新種)      (Epigynum 図10)

深広地区 1983年 7月26日、雌成体1 頭

○ *Erigoninae* gen. et sp.      (Epigynum 図11)

下山地区 1983年 7月26日、雌成体2 頭



図 6

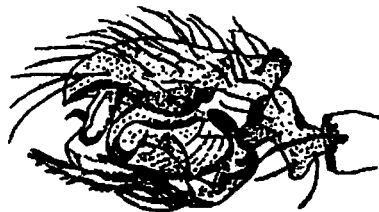


図 7



図 8

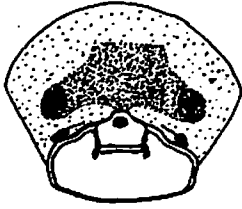


図 9

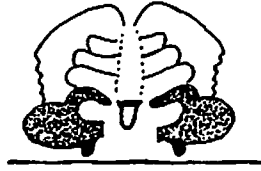


図 10

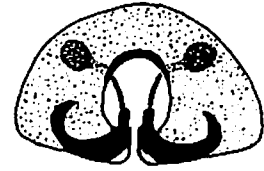


図 11

◎ ハエトリグモ類

幼体や亜成体が多く同定困難であったが、次の二種は注目される。

- Neon sp. ネオンハエトリの近似種 (Epigynum. Palp 図12)

床並地区、 1983年 9月25日、雌成体1頭。体長約4mm のクモで、三重県では3カ所目の記録である。

- Salticidae sp. ハエトリグモ科の一種 (Epigynum 図13)

熊走地区 1983年 7月26日、雌成体1頭

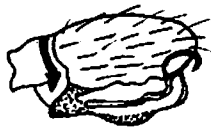
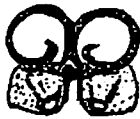


図 12

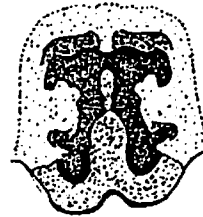


図 13

## 大川親雄氏のクモ標本同定結果

### 三重クモ談話会

昨年、大川親雄氏から沢山のクモの標本を御寄贈いただいた。各地で昆虫調査をされるかたわら、同時にクモの採集も行われたもので、県内の実動研究者が少ない当会としては、各地の貴重な標本が得られ、大変ありがたいことである。標本は、スウィーピング法を用いて採集されたものが多いようだが、一部には貴重な種も含まれており、目下精査中である。

大川氏にお礼申し上げるとともに、今後の三重県の分布資料とするために、ひとまず同定が完了したものの結果をここに報告する。(同定者： 貝発憲治)

#### ○ 採集場所及び採集年月日

員弁郡藤原町坂本谷 (1980-Ⅳ-20) [C3627-3510]、鈴鹿市野戸山 (1981-Ⅴ-9 [1] 1981-Ⅴ-23 [2] 1982-V-5 [3]) [C3625-3456]、石水溪 (1982-V-5)、鈴鹿郡関町金場 (1982-X-26) [C3621-3450]、安芸郡安濃町内多 (1981-Ⅷ-15) [C3628-3445]、安芸郡安濃町大塚 (1982-Ⅷ-8) [C3626-3446]、安芸郡安濃町経ヶ峰 (1982-X-17) [C3624-3446]、津市長谷山 (1982-Ⅶ-8 [1] 1982-X-17 [2]) [C3626-3443]、津市片田 (1982-Ⅷ-14) [C3626-3442]、多気郡多気町津留 (1983-V-5) [C3628-3429 ~ C3629-3429]、一志郡白山町小杉 (1982-XI-23) [C3616-3437]、飯南郡飯高町宮本湯谷川 (1982-Ⅶ-4) [C3614-3424]、伊勢市伊勢神宮外宮 (1977-Ⅷ-21) [C3642-3429]、阿山郡大山田村子延 (1982-Ⅷ-14) [C3617-3446]、阿山郡大山田村炊村 (1982-K-26) [C3612-3446]、阿山郡大山田村犬戻峽 (1982-VI-6)、阿山郡大山田村コウモリ峠 (1982-K-26)、阿山郡伊賀町靈山 (1981-Ⅷ-15 [1] 1982-V-5 [2]) [C3615-3448]、上野市四十九町 (1982-Ⅷ-14) [C3608-3444]、名張市上比奈知比奈知発電所 (1983-Ⅳ-29 [1] 1983-V-15 [2]) [C3609-3436]、多気郡宮川村春日春日谷 (1982-VI-27 [1] 1982-Ⅶ-4 [2]) [C3615-3419 ~ C3616-3418]、多気郡宮川村島谷 (1982-Ⅶ-4) [C3617-3419]、多気郡宮川村栗谷 (1982-Ⅶ-4) [C3618-3422]、多気郡宮川村丸木 (1979-XII-23)、度会郡南島町東宮 (1981-Ⅷ-19) [C3632-3417]、度会郡南島町大河内 (1981-Ⅶ-19) [C3627-3416]、度会郡大内山村頭の宮 (1983-V-5) [C3621-3416]、北牟婁郡紀伊長島町三戸 (1982-VI-6) [C3615-3411]、北牟婁郡紀伊長島町大船 (1982-VI-6) [C3615-3410]、北牟婁郡紀伊長島町田山 (1982-V-6) [C3620-3412]、北牟婁郡紀伊長島町三浦谷 (1982-VI-6) [C3616-3411]、北牟婁郡紀伊長島町海野 (1981-V-10) [C3619-3411]、北牟婁郡紀伊長島町道瀬 (1981-V-10) [C3617-3410]、北牟婁郡紀伊長島町大野内 (1982-VI-6)

) [ C3616-3414 ]、北牟婁郡海山町大白浦 (1981-V-10) [ C3617-3407 ]、尾鷲市矢川峠 (1979-X-14) [ C3609-3400 ]、尾鷲市中村山 (1979-XI-4 [ 1 ] 1979-XII-23 [ 2 ]) [ C3611-3404 ]、尾鷲市八幡トンネル (1979-XI-3) [ C3606-3403 ]、尾鷲市クチスボダム (1979-XI-25) [ C3609-3405 ]、尾鷲市青年の家 (1979-XII-23) [ C3614-3403 ]、尾鷲市大曾根浦 (1979-XI-25) [ C3613-3403 ]、尾鷲市八幡峠 (1979-XI-25) [ C3607-3403 ]、尾鷲市又口川 (1979-XI-25) [ C3607-3404~C3608-3405 ]、尾鷲市古戸 (1979-X-14)、尾鷲市小野平滝 (1979-X-9)、尾鷲市天満浦 (1979-X-14) [ C3612-3404 ]、度会郡紀勢町笠木 (1982-VI-6) [ C3623-3418 ]、三重郡野町広幡井 (1979-XI-8)

○ 目 録

- I. Theridiidae ヒメグモ科
1. *Achaearanea tepidariorum* (C. KOCH) オオヒメグモ  
小杉、外宮
  2. *Anelosimus crassipes* (BOS. et STR.) アシブトヒメグモ  
石水溪、経ヶ峰
  3. *Ariames cylindrogaster* SIMON オナガグモ  
小杉
  4. *Chryso punctifera* (YAGINUMA) ホシミドリヒメグモ  
石水溪、経ヶ峰、小杉、八幡トンネル、八幡峠
  5. *Dipoena mustelina* (SIMON) カニミジングモ  
石水溪
  6. *Episimus caudifer* DON. et STR. ハラナガヒシガタグモ  
八幡トンネル
  7. *Theridion chikumii* YAGINUMA バラギヒメグモ  
子延
  8. *T. takayense* SAITO タカユヒメグモ  
靈山 [ 1 ]
  - Theridiidae sp. ヒメグモ科幼体  
子延、コウモリ峠
- II. Linyphiidae サラグモ科
9. *Neolinyphia nigripectoris* OI ムネグロサラグモ  
野戸山 [ 2 ]、三戸
  10. *Prolinyphia yunohamensis* (BOS. et STR.) ユノハマサラグモ  
坂本谷、経ヶ峰、長谷山 [ 2 ]、大船、青年の家、又口川
  - Linyphiidae sp. サラグモ科幼体

靈山〔2〕、四十九、矢川峠、八幡峠

III. Erigonidae

コサラグモ科

11. *Aprifrontalia mascula* (KARSCH)

コサラグモ

大野内

12. *Gopatum arimaense* OI

アリマケズネグモ

経ヶ峠

13. *Nematognus sanguinolentus* (WALCK)

チビアカサラグモ

野戸山〔2〕

- Erigonidae sp.

コサラグモ科幼体

八幡トンネル

IV. Araneidae

コガネグモ科

14. *Araneus ishisanui* KISHIDA

イシサワオニグモ

野戸山〔2〕

15. *A. pseudocentrodus* BOS. et STR.

トガリオニグモ

コウモリ峠

16. *A. cucurbitinus* CLERCK

ハナオニグモ

野戸山〔1〕、小杉、比奈知〔2〕

17. *A. displicatus* HENTZ

ムツボシオニグモ

坂本谷、石水溪、靈山〔1〕〔2〕、矢川峠、八幡峠

18. *A. ejusmodi* BOS. et STR.

ヌサオニグモ

大船、大野内、青年の家、古戸

19. *Neoscona fuscocolorata* (BOS. et STR.)

ヤミイロオニグモ

コウモリ峠、外官

20. *N. scylla* (KARSCH)

ヤマシロオニグモ

比奈知〔2〕

21. *N. scylloides* (BOS. et STR.)

サツマノミダマシ

外官

22. *Hypsosinga sanguinea* (C. KOCH)

シロスジショウジョウグモ

経ヶ峠

23. *Zilla sachalinensis* (SAITO)

カラフトオニグモ

靈山〔1〕、春日谷〔1〕、大船

24. *Argiope bruemichii* (SCOPOLI)

ナガコガネグモ

野戸山〔2〕、内多、靈山〔1〕、四十九、三浦谷

25. *Chorizopes nipponicus* YAGINUMA

ヤマトカナエグモ

靈山〔2〕

26. *Cyclosa octotuberculata* KARSCH

ゴミグモ

大船、大野内

27. *C. sedeculata* KARSCH ヨツデゴミグモ  
坂本谷、野戸山〔1〕、八幡トンネル
28. *Cyrtarachne bufo* (BOS. et STR.) トリノフンダマシ  
外宮
29. *Larinia argiopiformis* BOS. et STR. コガネグモダマシ  
秋村
30. *Nephila clavata* L. KOCH ジョロウグモ  
四十九、外宮、大河内、古戸
- Araneidae sp. コガネグモ科幼体  
坂本谷、野戸山〔2〕、石水溪、経ヶ峰、春日谷〔1〕〔2〕、中村山〔2〕、  
又口川、広幡井
- V. Tetragnathidae アシナガグモ科
31. *Leucauge blanda* (L. KOCH) チュウガタシロカネグモ  
東宮
32. *L. magnifica* YAGINUMA オオシロカネグモ  
経ヶ峰
33. *L. subblanda* BOS. et STR. コシロカネグモ  
長谷山〔1〕、大塚、霊山〔1〕、三戸、広幡井
34. *L. subgen mea* BOS. et STR. キララシロカネグモ  
四十九
35. *Tetragnatha japonica* (BOS. et STR.) ヤサガタアシナガグモ  
霊山〔1〕、東宮
36. *T. praedonia* L. KOCH アシナガグモ  
片田、比奈知〔2〕、頭の宮、大白浦、海野、大曾根浦、又口川、小野平滝
37. *T. squamata* KARSCH ウロコアシナガグモ  
坂本谷、石水溪、経ヶ峰、小杉、霊山〔2〕、コウモリ峠、大船、矢川峠、八  
幡トンネル、クチスボダム、又口川、小野平滝
- Tetragnathidae sp. アシナガグモ科幼体  
野戸山〔1〕〔2〕、大塚、経ヶ峰、八幡トンネル、大曾根浦
- VI. Agelenidae タナグモ科
38. *Agelena limbata* THORELL クサグモ  
野戸山〔1〕、大船
39. *A. opulenta* L. KOCH コクサグモ  
野戸山〔2〕
- VII. Pisauridae キシダグモ科

40. *Dolomedes hercules* BOS. et STR. スジボケハシリグモ  
子延、栗谷
41. *D. pallitarsis* DON. et STR. スジブトハシリグモ  
コウモリ峠、天満浦
42. *D. sulfureus* L. KOCH イオウイロハシリグモ  
経ヶ峰、小杉、犬戻峽、コウモリ峠、外宮、大船、道瀬、八幡トンネル
43. *Pisaura lana* BOS. et STR. アズマキシダグモ  
野戸山〔1〕、コウモリ峠、クチスボダム
- Ⅷ. Oxyopidae ササグモ科
44. *Oxyopes sertatus* L. KOCH ササグモ  
坂本谷、内多、津留、湯谷川、外宮、比奈知〔1〕、栗谷、東宮、頭の宮、  
三戸、大船、海野、道瀬、大野内、クチスボダム、大曾根浦、又口川、小野  
平滝、古戸、天満浦、広幡井
- Ⅸ. Thomisidae カニグモ科
45. *Misumenops japonicus* (BOS. et STR.) コハナグモ  
野戸山〔1〕〔2〕、内多、経ヶ峰、長谷山〔1〕、子延、犬戻峽、靈山〔1〕  
〔2〕、四十九、比奈知〔2〕、春日谷〔1〕、大船、田山、道瀬、大野内、  
三戸、矢川峠、中村山〔1〕、八幡トンネル、小野平滝、笠木
46. *M. tricuspidatus* (FABRICIUS) ハナグモ  
金場、長谷山〔1〕、片田、津留、コウモリ峠、比奈知〔1〕〔2〕、東宮、  
頭の宮、海野、道瀬、中村山〔2〕、八幡峠、古戸、広幡井
47. *Oxytate striatipes* L. KOCH ワカバグモ  
坂本谷、野戸山〔1〕〔2〕、石水溪、金場、経ヶ峰、長谷山〔1〕〔2〕、津  
留、小杉、子延、炊村、コウモリ峠、靈山〔1〕、四十九、春日谷〔1〕、頭  
の宮、中村山〔1〕、大曾根浦、八幡峠、又口川、小野平滝、古戸、笠木、  
広幡井
48. *Philodromus subaureolus* BOS. et STR. アサヒエビグモ  
野戸山〔1〕、長谷山〔2〕、靈山〔2〕、比奈知〔2〕、大野内、中村山〔1〕  
〔2〕、青年の家、大曾根浦、八幡峠
49. *Synaema globosum japonicum* KARSCH フノジグモ  
コウモリ峠
50. *Lysiteles takashimai* (UYEMURA) アマガエビスグモ  
坂本谷、野戸山〔2〕、靈山〔1〕、八幡峠
51. *Thomisus labefactus* KARSCH アズチグモ  
片田、広幡井
52. *Tibellus tenellus* (L. KOCH) シャコグモ

- 石水溪、経ヶ峰、長谷山〔2〕、津留、霊山〔1〕、頭の宮、大野内
53. *Tharus piger* (WALCK)                      トラフカニグモ  
野戸山〔2〕、霊山〔1〕、八幡トンネル、笠木、広幡井
54. *T. rimosus* PAIK                      セマルトラフカニグモ  
四十九
55. *Xysticus croceus* FOX                      ヤミイロカニグモ  
野戸山〔1〕〔2〕、大塚、コウモリ峠、四十九、比奈知〔1〕、頭の宮、大船、古戸、広幡井
- *Philodromus* sp.                      エビグモ属幼体  
外宮、三戸
  - *Thomisidae* sp.                      カニグモ科幼体  
四十九、海野
- X.                      Salticidae                      ハエトリグモ科
56. *Carrhotus xanthogramma* (LATREILLE)                      ネコハエトリ  
野戸山〔1〕〔2〕〔3〕、金場、内多、長谷山〔2〕、片田、津留、子延、コウモリ峠、比奈知〔2〕、春日谷〔2〕、栗谷、頭の宮、三浦谷、海野、中村山〔1〕、八幡トンネル、小野平滝、広幡井
57. *Dendryphantès atratus* (KARSCH)                      カラスハエトリ  
湯谷川、霊山〔1〕〔2〕、外宮、三戸、笠木
58. *Evarcha albaria* (L. KOCH)                      マミジロハエトリ  
石水溪、金場、島谷、四十九、道瀬、大曾根浦、古戸、笠木
59. *Hasarius doenitzi* KARSCH                      デーニッツハエトリ  
野戸山〔1〕〔3〕、大塚、経ヶ峰、外宮、犬戻峽、コウモリ峠、四十九、小野平滝
60. *Jotus* (?) *abnormis* BOS. et STR.                      チャイロアサヒハエトリ  
栗谷
61. *J* (?) *difficilis* BOS. et STR.                      マガネアサヒハエトリ  
小杉、矢川峠、八幡トンネル
62. *Marpissa magister* (KARSCH)                      オスクロハエトリ  
野戸山〔1〕
63. *M. pulla* (KARSCH)                      ヨダンハエトリ  
広幡井
64. *Myrmarachne japonica* (KARSCH)                      アリグモ  
長谷山〔1〕、比奈知〔2〕、大野内、中村山〔1〕、古戸
65. *Silerella vittata* (KARSCH)                      アオオビハエトリ  
湯谷川、春日谷〔1〕



66. Salticidae sp.           ハエトリグモ科の一種  
外宮、古戸
67. Salticidae sp.           ハエトリグモ科の一種  
海野
- Salticidae sp.           ハエトリグモ科幼体  
坂本谷、野戸山〔1〕、長谷山〔1〕、津留、靈山〔1〕、道瀬、広幡井
- XI.           Clubionidae           フクログモ科
68. *Chiracanthium eutittha* BOS. et SIR.           アシナガコマチグモ  
坂本谷、経ヶ峰
69. *Clubiona corrugata* BOS. et SIR.           コフクログモ  
小杉、コウモリ峠
70. *C. jucunda* (KARSCH)           ヤハズフクログモ  
長谷山〔1〕、八幡トンネル
71. *C. vigil* KARSCH           ムナアカフクログモ  
石水溪、経ヶ峰、外宮、コウモリ峠、比奈知〔2〕
- Clubiona sp.           フクログモ属幼体  
野戸山〔1〕〔3〕、経ヶ峰、長谷山〔1〕〔2〕、片田、三浦谷、中村山〔1〕、八幡トンネル
- XII.           Anyphaenidae           イズツグモ科
72. *Anyphaena pugil* KARSCH           イズツグモ  
比奈知〔2〕、八幡峠
- XIII.           Gnaphosidae           ワシグモ科
- Gnaphosidae sp.           ワシグモ科幼体  
丸木

# 松 阪 市 の ク モ (I)

## 三 重 ク モ 談 話 会

三重クモ談話会では、定期採集会を未調査地を中心に行っていくことに決め、第一段階として昭和57年度、58年度は、全く調査の行われていない松阪地域を選んだ。しかし、当日の天候が悪かったり、参加者の都合がつかなくなったりして、今までのところ結局、各年一回ずつの採集会しか開くことができなかった。わずかの活動で不十分であるが、採集会当日の簡単な様子と採集結果を、とりあえずここに報告する。

### ○昭和 57 年度採集会

期 日 昭和 57 年 11 月 3 日 (水)

場 所 三重県松阪市大阿坂町阿坂城跡 [ C3626-3435~3628-3435 ]

参加者 太田定浩 橋本理市 貝発憲治

阿坂城跡は、市街地より西北西約10kmに位置する標高 312 m の山頂にある。この城は、室町時代に北畠氏が重要拠点とした城で、1415年(応永22年)北畠満雅が室町幕府軍と戦ったときろ城し、水を断った持久戦に出られてもよく耐え、白米を馬の背に流して水が豊富にあるかのようにみせ、幕府軍を欺いたところから、別名白米城としても有名である。第一回目は山の辺のこの地を選んでみた。

採集会当日は天候も大変よく、午前10時に貝発の車でふもとの浄眼寺へ到着。さっそく採集にとりかかった。まず、寺の周辺で小 1時間ほどビーティングをした後、城跡へ向って約 2kmの山道を思い思いに採集しながら登ったが、まわりは、アカマツやヤマツツジ、アセビ、アカメガシワなどの陽樹林が大部分を占める、かなり単純な環境の連続で、多くのクモは得られなかった。1時すぎに山頂へ到着。城跡はあまり広くはないが、松阪市街が一望でき、大変景色のよいところであった。碑の近くで昼食、記念撮影の後、再び採集をしながら下山した。三名ともあまり大した成果はあがらなかった。4時に解散。

### ○昭和 58 年度採集会

期 日 昭和 58 年 9 月 23 日 (日)

場 所 三重県松阪市西野町山口

参加者 太田定浩 貝発憲治

頭初計画していた採集会が雨で流れたこともあり、参加者は二名だけであった。この日も曇り空で、今にも雨が降りだしそうであったが、日を改めるとなるとまた大事になるので、あまり遠くへ出かけず近くのごくありふれた地域を選ぶことにして、思いきって実行した。

山口は、松阪駅から西へ約 5kmほど離れたところにあり、住宅地を通りぬける

と少しばかりの田畑が広がり、すぐに堀坂山への川ぞいの山道が続いている。まず、スギ、ヒノキ、アオキ、アラカシなどの樹々が続く山道を、山頂へ向って採集してみた。しかし、ビーティングしやすい場所が少なく、クモはあまり得られなかった。そこで、山道での採集は打ちきり、次に入口あたりの雑草地や田畑で採集を行った。太田はビーティング法、貝発はシフティング法を中心に採集した。だんだん熱が入り、昼食も忘れるほどであったが、1時ごろからとうとう雨が降りだしたので、木かげで昼食休憩をした。学校のこと、クモのことなど雑談もまた楽しいものである。その後、雨の中で2時半ごろまで採集をし、帰途についた。

- 標本は山口での結果の一部を除いてほとんど未同定のままなので、きわめて不十分であるが、同定ずみのものをここに掲げる。他の同定結果については、次回の「しのびぐも」に発表する予定である。

- |     |  |             |
|-----|--|-------------|
|     | I. Uloboridae                                  | ウズグモ科       |
| 1.  | <i>Maigranmopes orientalis</i> BOS. et STR.    | マネキグモ       |
| 2.  | <i>Uloborus varians</i> BOS. et STR.           | ウズグモ        |
|     | II. Pholoidae                                  | ユウレイグモ科     |
| 3.  | <i>Pholcus crypticolens</i> BOS. et STR.       | ユウレイグモ      |
|     | III. Theridiidae                               | ヒメグモ科       |
| 4.  | <i>Achaearanea tepidariorum</i> (C. KOCH)      | オオヒメグモ      |
| 5.  | <i>Anelosimus crassipes</i> (BOS. et STR.)     | アシプトヒメグモ    |
| 6.  | <i>Coleosara blandum</i> O. P. CAMBRIDGE       | サヤヒメグモ      |
| 7.  | <i>Dipoena castrata</i> BOS. et STR.           | ボカシミジグモ     |
| 8.  | <i>D. mustelina</i> (SIMON)                    | カニミジグモ      |
| 9.  | <i>Enoplognatha japonica</i> BOS. et STR.      | ヤマトコノハグモ    |
| 10. | <i>Stenmops nipponicus</i> YAGINUMA            | スネグロオチバヒメグモ |
| 11. | <i>Theridion japonicum</i> BOS. et STR.        | ヒメグモ        |
| 12. | <i>T. sterninotatum</i> BOS. et STR.           | ムナボシヒメグモ    |
| •   | ヒメグモ科幼体  |             |
|     | IV. Linyphiidae                                | サラグモ科       |
| 13. | <i>Meioneta concava</i> OI                     | クボミケシグモ     |
| •   | サラグモ科幼体  |             |
|     | V. Erigonidae                                  | コサラグモ科      |
| 14. | <i>Diplocephaloides saganus</i> (BOS. et STR.) | ハラジロムナキグモ   |
| •   | コサラグモ科幼体                                       |             |

- コサラグモ科幼体
  - VI. Mimetidae センショウグモ科
  - 15. *Ero japonica* BOS. et STR. センショウグモ
  - VII. Araneidae コガネグモ科
  - 16. *Neoscona fuscocolorata* (BOS. et STR.) ヤミイロオニグモ
  - 17. *Hypsosinga sanguinea* (C. KOCH) シロスジショウジョウグモ
  - 18. *Argiope minuta* KARSCH コガタコガネグモ
  - 19. *Chorizopes nipponicus* YAGINUMA ヤマトカナエグモ
  - 20. *Cyclosa sedeculata* KARSCH ヨツデゴミグモ
  - VIII. Theridiosomatidae カラカラグモ科
  - 21. *Ogulnius pullus* BOS. et STR. ヤマジグモ
  - IX. Tetragnathidae アシナガグモ科
  - 22. *Tetragnatha praedonia* L. KOCH アシナガグモ
  - 23. *T. squamata* KARSCH ウロコアシナガグモ
  - シロカネグモ属幼体
    - X. Agelenidae タナグモ科
    - 24. *Cybaeus nipponicus* (UYEMURA) カチドキナミハグモ
    - ヤチグモ属亜成体
    - ヤチグモ属幼体
    - XI. Pisauridae キンダグモ科
    - 25. *Dolomedes sulfureus* L. KOCH イオウイロハシリグモ
    - 26. *Pisaura lama* BOS. et STR. アズマキンダグモ
    - XII. Lycosidae コモリグモ科
    - 27. *Lycosa coelestis* (L. KOCH) ハラクロコモリグモ
    - 28. *L. pseudoannulata* (BOS. et STR.) キクツキコモリグモ
    - 29. *Pardosa laura* KARSCH ハリゲコモリグモ
    - 30. *Pirata piratiodes* (BOS. et STR.) イモコモリグモ
    - 31. *P. procurvus* (BOS. et STR.) チビコモリグモ
    - 32. *P. subpiraticus* (BOS. et STR.) キバラコモリグモ
    - 33. *Tricca japonica* SIMON ヒノマルコモリグモ
    - XIII. Oxyopidae ササグモ科
    - 34. *Oxyopes sertatus* L. KOCH ササグモ
    - XIV. Thomisidae カニグモ科
    - 35. *Misumenops japonicus* (BOS. et STR.) コハナグモ
    - 36. *Oxytate striatipes* L. KOCH ワカバグモ
    - 37. *Philodromus subaureolus* BOS. et STR. アサヒエビグモ

38. *Tibellus tenellus* (L. KOCH) シャコグモ
39. *Thanatus formicinus* (CLERCK) ヤドカリグモ
40. *Xysticus croceus* FOX ヤミイロカニグモ
- ・ カニグモ科幼体
- XV. Salticoidae ハエトリグモ科
41. *Carrhotus xanthogramma* (LATREILLE) ネコハエトリ
42. *Dendryphantas atratus* (KARSCH) カラスハエトリ
43. *Evarcha albaria* (L. KOCH) マミジロハエトリ
44. *Hasarius doenitzi* KARSCH デーニッツハエトリ
45. *Myrmarachne japonica* (KARSCH) アリグモ
46. *Neon* sp. ネオンハエトリの近似種
47. *Silerella vittata* (KARSCH) アオオビハエトリ
48. *Tenanonia* (?) *bifurcilinea* BOS. et STR. キアシハエトリ
- ・ ハエトリグモ科幼体
- XVI. Clubionidae フクログモ科
49. *Chiracanthium japonicum* BOS. et STR. カバキコマチグモ
50. *Itatsina praticola* (BOS. et STR.) イタチグモ
51. *Orthobula crucifera* BOS. et STR. オトヒメグモ
52. *Phrurolithus kamurai* YAGINUMA コムラウラシマグモ
53. *Trachelas japocinus* BOS. et STR. ネコグモ
- ・ フクログモ属幼体
- XVII. Anyphaenidae イズツグモ科
54. *Anyphaena pugil* KARSCH イズツグモ
- XVIII. Ctenidae シボグモ科
55. *Anahita fauna* KARSCH シボグモ
- XIX. Gnaphosidae ワシグモ科
56. *Gnaphosa kampirensis* BOS. et STR. メキリグモ
57. *Zelotes asiaticus* (BOS. et STR.) クロチャケムリグモ
- ・ ワシグモ科幼体

## お知らせ

尾鷲市は昭和54年から55年にかけて、中部電力三田火力発電所等の尾鷲地域におよぼす環境影響調査を行い、その一環として、尾鷲市とその周辺地域における野生生物の現況調査も実施した。この調査に、真正蜘蛛類分野の担当として、当会から太田定浩、貝発憲治の二名が参加した。そして、昭和54年11月から昭和55年8月までの約1年間、計7回にわたって、7地点での定点調査と11地点での任意調査を行い、23科92属170種の真正蜘蛛類とその生態を確認した。この結果の一部は、既に「しのびぐも」第8号に発表されているが、全分野の総合報告書も昭和56年に尾鷲市へ提出されている。今回、このときの内容を基本として、改めて学術論文の様式をととのえた報告書とその別刷が印刷された。

一方、鈴鹿山系北部石灰岩地域の自然科学調査が、藤原自然科学館の方々を中心として、昭和50年から5カ年計画で始められたが、いろいろの事情から延びてしまい、現在に至っている。当会からは、太田定浩、橋本理市、貝発憲治の三名がこの調査に参加しており、昭和52年から昭和55年にかけて、15回、真正蜘蛛類の調査を行って、26科98属177種を確認した。その結果は既に昭和57年に提出されているが、ようやく報告書第一集として、他の分野とともに昭和59年の夏に出版される予定となった。

- 上記二種の別刷の一部は、当会で保管している。御希望の方にはおわけしますので、事務局までお申し込み下さい。

- |      |   |                              |
|------|---|------------------------------|
| 111. | クモの一生 (観察の本= 8 : 偕成社)                       | 千国安之輔                        |
| 112. | 日本産主要動物の種別文献目録 (11) ミズグモ                    | 大野正男                         |
| 113. | 蜘蛛 17                                       | 中部蜘蛛懇談会                      |
| 114. | 九州クモの会会報 (第1 3号)                            | 九州クモの会                       |
| 115. | 談話会通信 No 4 2                                | 東京蜘蛛談話会                      |
| 116. | トタテズグモ No 1 2                               | クモの会                         |
| 117. | K I S H I D A I A No 5 0                    | 東京蜘蛛談話会                      |
| 118. | A T Y P U S No 8 1                          | 東亜蜘蛛学会                       |
| 119. | クモの認識調査 (三重生物研修会資料)                         | 貝發憲治                         |
| 120. | 三重県におけるクモ学研究の歴史と現状 (三重生物研修会資料)              | 貝發憲治                         |
| 121. | 糸の使い手・蜘蛛——その3 (緑と光第27号)                     | 須賀瑛文                         |
| 122. | A T Y P U S No 8 2                          | 東亜蜘蛛学会                       |
| 123. | H E P T A T H E L A Vol 2 No 3              | 九州クモの会                       |
| 124. | 談話会通信 No 4 3                                | 東京蜘蛛談話会                      |
| 125. | くものいと 第1号                                   | 関西クモ研究会                      |
| 126. | A T Y P U S No 8 3                          | 東亜蜘蛛学会                       |
| 127. | A C T A A R A C H N O L O G I C A XXXI No 2 | 東亜蜘蛛学会                       |
| 128. | 談話会通信 No 4 4                                | 東京蜘蛛談話会                      |
| 129. | 大阪府箕面産ヤチグモの3 新種                             | 西川喜朗                         |
| 130. | 蜘蛛 18                                       | 中部蜘蛛懇談会                      |
| 131. | 中国のクモ・日本のクモ (I) ——資料篇——                     | 八木沼健夫<br>文 在根                |
| 132. | 中国のクモ・日本のクモ (II) ——統篇——                     | 八木沼健夫<br>文 在根                |
| 133. | 棕管巢蛛生物学特性和发生规律的研究                           | 赵 敬剑<br>陈 文华                 |
| 134. | 三突花蛛的生活史及其对棉虫控制的初步研究                        | 刘 凤想<br>赵 敬剑<br>刘 凤想<br>陈 文华 |

○ 貸出希望の方、機関誌バックナンバー御希望の方は、事務局までお申し込み下さい。

昭和58年度決算報告

収入の部 99,143 円

前年度繰越金	55,843	
会費	37,500	(1,000×37.500×1)
寄附(大野正男氏)	1,000	
機関誌売上	4,800	

支出の部 34,085 円

機関誌第10号紙代	4,100
機関誌第10号製本代	11,200
機関誌第11号紙代	4,290
郵送代	5,700
通信・事務費	8,968

残高 65,085 円

上記の通り相違ありません。

昭和58年3月31日

会計員 発 憲 治

会費領収(敬称略)

(昭和49年度～昭和54年度) 杉永 厚 (昭和55年度) 杉永 厚・太田定浩  
 (昭和56年度) 杉永 厚・太田定浩 (昭和57年度) 杉永 厚・太田定浩・  
 田中穂積・高橋米夫・橋本理市 (昭和58年度) 杉永 厚・太田定浩・  
 田中穂積・高橋米夫・橋本理市・鶴丹谷 充・石田昇三・藤吉恵美・  
 市橋 甫・新海栄一・具発憲治・八木沼健夫・千国安之輔・孫福 正・  
 山川要助・須賀瑛文 (昭和59年度) 太田定浩・橋本理市・  
 鶴丹谷 充・市橋 甫・新海栄一・八木沼健夫・須賀瑛文・熊田憲一  
 (昭和60年度) 鶴丹谷 充

会費納入について

未納の方は、至急御送金下さい。原則として前納をお願いします。

郵便振替

名古屋 8 - 3895



## 編集後記

本年度は特に原稿の集まり工合が悪く、機関誌「しのびぐも」の発行が危ぶまれましたが、四苦八苦しながらもどうやら完成することができました。何とか、年一回の発行が維持できほっとしているところですが、大変遅くなってしまったことは、心からおわびいたします。小さな研究団体ですので、会員の皆様一人一人の御協力が特に必要です。クモに関することなら何でも結構ですので、日頃から記録にとどめぜひ原稿をお寄せ下さい。御活躍を期待いたします。

しのびぐも 第11号 1983

昭和59年5月15日印刷

昭和59年5月20日発行

編集者 太田定浩 橋本理市 貝発憲治

発行者 太田定浩

発行所 三重クモ談話会

〒517 三重県鳥羽市安楽島町村山1459

三重県立鳥羽高等学校内

☎ (0599) 25-2935